

2019年度事業報告書

特定非営利活動法人 豊中市青少年野外活動協会

1 事業期間 2019年4月1日～2020年3月31日

2 事業の成果

・ 総括

2019年度も、これまで取り組んできた野外活動事業を継続展開しました。各事業の参加者にとって「自然とのふれあい」「仲間との素晴らしい原体験」を感じる機会を提供し、人間的な成長に寄与できたと考えます。

これらの事業の企画運営を担ったカウンセラーにとっても、事業の準備や実施、子ども達とのかわり、研修への参加等を通して、達成感や気づき、仲間との連帯感など、自己を成長させる機会となりました。また、事業の準備、運営には、多くの協会OBにサポートしていただき、安定的な事業運営を行うことができました。一方で、新人カウンセラーの入会は、例年に比べて少なめとなっています。

豊中市立青少年自然の家「わっぱる」に関しては、指定管理期間5年間の5年目となりました。今後の施設のあり方について、市長や教育長などが来訪した上で検討された結果、2021年度から新たな指定管理者制度のもとでの継続が豊中市により決定されました。これに伴い、2020年度は随意契約により、施設の管理運営を担うこととなりました。

今年度は特に2月～3月にかけて、コロナウイルス感染症の拡大を受け、利用のキャンセルが相次ぎました。その影響もあり、利用実績は豊中市が求める水準を満たすことができたものの、前年度を下回る結果となりました。

その他、2019年度は公益社団法人日本キャンプ協会より、キャンプや自然体験活動の普及・促進、青少年健全育成、野外教育への貢献があった個人や団体に送られる「CAMPING AWARD」を受賞しました。また、豊中市消防局より優良救急普及啓発団体として表彰されました。

・ 豊中市からの受託事業及び協会主催事業

豊中市からの受託事業として、広く市民を対象とした「青少年カーニバル」をカウンセラーや理事職員・ボランティアなど約35名のスタッフで実施しました。服部緑地公園を会場に500名を超える市民に参加していただきました。

協会の主催事業として、近隣小学校の低学年（1～2年）児童を対象にした「低学年向けキッズハイキング」を引き続き実施。荒天による中止などもあり、今年度は秋に1回実施にとどまりましたが、定員を上回る応募がありました。中学生を対象とした事業として「しまなみ交流キャンプ」を実施。夏休みに大三島（愛媛県今治市）を訪問し、両地域の子供達が様々なプログラムを通して交流しました。例年、春休み期間中に大三島の子供達が来阪しますが、今年度はコロナウイルス感染症の影響で中止としました。また、中高生を対象とした「アウトドアクラブ」を今年度も実施。ハイキングやサイクリング、スキー・スノーボードなど、1年を通して、季節に応じた様々なプログラムを実施しました。アウトドアクラブも、コロナウイルス感染症の影響で3月実施分を中止としました。

しまなみ交流キャンプとアウトドアクラブについては、その企画内容を評価され、「子どもゆめ基金」の助成採択を受けることができました。

・ カウンセラー育成

野外活動及びグループワークを実践しながら子どもと関わるができる優れた指導者の育成を目的に各種研修事業を実施しました。「自分の意見を伝えることができる」「野外体験活動を広めることができる」「人と人をつなげることができる」の3点を目指すべきカウンセラー像としな

から、協会内部での研修に加え、外部から講師を招いた研修も実施しました。また、昨年度に引き続きカウンセラーに対する面談も実施。今年度の振り返りと今後の展望、協会への要望や提案について話し合いました。加えて、多くの若者に当協会を知ってもらい「カウンセラー」に関心を持ってもらうため、新人カウンセラー獲得に向けた様々な活動も行いました。

研修の内容は充実していたと考えますが、カウンセラーの参加率向上が今後の課題です。また、新人カウンセラーの入会も例年に比べて少なく、当協会の存在や活動を若者が知り、関心を持ってもらえる新しい手法や場を検討・開発していきます。

・「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」の管理運営

提案書で掲げた「豊中の里山 わっぱる」をコンセプトとするとともに、「サポート&ホスピタリティ with スマイル」を心がけた施設運営に取り組みました。

2019年度は、特に年度末にコロナウイルス感染症にともなう団体のキャンセル、主催事業の中止が多くあり、施設利用団体数、利用者数は前年を下回りました。

一方で施設のファンクラブ「わっぱるキッズ」向けの事業を増やしたり、施設外への出張事業を増やしたり等、わっぱるの認知度向上に努めました。

施設・設備の管理においては、建物の老朽化、キャンプ場の松枯れ・ナラ枯れが進んでいる状況を踏まえ、定期的な点検と補修を実施しました。軽微な修繕に関しては指定管理者として迅速に実施。大きな修繕に関しては、豊中市との協議の上で補修等の対策を行いました。また「ワークキャンプ」や「わっぱるの森をつくろう」など、市民や利用団体を巻き込んだ修繕事業も積極的に実施しました。

その他、職員に関しては野外活動や施設の管理運営に必要な各種研修への参加、資格の取得を促進し、施設全体としてのスキルアップを図りました。

3 事業の実施状況

(1) 野外活動等に関する事業

① 豊中市受託事業

a. 青少年カーニバル

日にち : 11月10日(日)

対象 : 市民一般

参加人数 : 583名(保険加入名簿記入者数)

スタッフ : i カウンセラー 27名

ii 理事職員・ボランティア 9名

参加費 : 無料

場所 : 服部緑地公園

内容 : クラフト、自然遊びなど

② 協会主催事業

b-1. しまなみ交流キャンプ 夏(子どもゆめ基金助成事業)

日にち : 8月16日(金)~8月19日(月) ※3泊4日

対象 : 豊中市とその近隣に在住の中学生と大三島中学生(各40名募集)

参加人数 : 26名(豊中18名 大三島8名) ※うち高校生9名

スタッフ : i カウンセラー 8名

ii 理事職員・ボランティア 12名(大三島の方を含む)

参加費 : 24,000円(高校生・大三島生は10,000円)

場所 : 愛媛県今治市大三島少年自然の家

内容 : マリンスポーツ、野外炊事、キャンプファイヤー、などを通した両地域の子どもたちの交流プログラム。

b-2. しまなみ交流キャンプ 春(子どもゆめ基金助成事業)

日にち : 3月28日(土)~3月30日(月)

対象 : 豊中市とその近隣に在住の中学生と大三島中学生 (各 40 名募集)

※ コロナウイルス感染症の拡大により中止。

c. 低学年向けキッズハイキング

日にち : 1回目:6月15日(土) 2回目:10月27日(日)

対象 : 服部天神駅周辺の小学校に通う、小学1年生・2年生(20名募集)

※1回目は荒天のため中止。以下は2回目のもの。

参加人数:23名

スタッフ: i カウンセラー 8名
ii 理事職員・ボランティア 3名

参加費 : 1,000円

場所 : 箕面公園

内容 : 日帰りでの簡単なハイキングとレクリエーション。目的地近くまで、電車に乗って移動。

d. アウトドアクラブ (子どもゆめ基金助成事業)

対象 : 中学生・高校生

内容 : 通年で、四季の自然の魅力を生かしたプログラム体験を通じ、グループワークを深めるもの。詳細は下記一覧表参照

実施日	内 容	参加費	場 所	参 加 者 (募集人数)	スタッフ
5月26日	バーベキュー	4,000円	豊中市立青少年自然の家	12名 (15名)	Co 0名 理事職員・ボランティア 3名
6月16日	ハイキング	4,000円	六甲	8名 (15名)	Co 2名 理事職員・ボランティア 3名
9月21日 ~23日	キャンプ&釣り	15,000円	竜宮浜 (京都府舞鶴市)	7名 (15名)	Co 1名 理事職員・ボランティア 4名
10月27日	サイクリング	3,500円	矢倉緑地	4名 (20名)	Co 2名 理事・職員 4名
1月11日 ~13日	スキー& スノーボード	17,000円	岐阜県高山市飛騨高山スキー場 国立乗鞍青少年交流の家	26名 (30名)	Co 5名 理事職員・ボランティア 13名
2月11日	たき火	4,000円	豊中市立青少年自然の家	4名 (10名)	Co 0名 理事職員・ボランティア 3名
3月20日	参加者企画	※コロナウイルス感染症のために中止			
			合計	61名	

e. オープンフェスタ事業 ※日帰り・宿泊も可

※ 1回目

日にち : 5月18日(土)~5月19日(日)

対象 : 豊中市及び近隣の家族(各日150名及び宿泊16組)

参加人数:319名

スタッフ: i カウンセラー 19名
ii 理事職員・ボランティア 16名
iii 講師 25名

参加費 : 1,000円 (大人・日帰り) 500円 (小学生以下・日帰り)
5,000円 (大人・宿泊) 4,000円 (小学生以下・宿泊)
500円 (3歳以下・宿泊)
※3歳以下の日帰りは無料
場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
内容 : クラフト、ウォークラリー、クッキーづくり、野外遊び、太陽観察、火おこし、似顔絵、カフェ、バードウォッチングなど

※2回目

日にち : 10月20日(土)～10月21日(日)
対象 : 豊中市及び近隣の家族(各日150名及び宿泊16組)
参加人数 : 328名
スタッフ : i カウンセラー 9名
ii 理事職員・ボランティア 15名
iii 講師 20名
参加費 : 1,000円 (大人・日帰り) 500円 (小学生以下・日帰り)
5,000円 (大人・宿泊) 4,000円 (小学生以下・宿泊)
500円 (3歳以下・宿泊)
※3歳以下の日帰りは無料
場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
内容 : ウォークラリー、クラフト、火起こし体験、野外遊び、たき火コーナー、似顔絵、カフェ、アウトドアクッキング、おはしづくり など

f. ワークキャンプ

※1回目

日にち : 6月25日(火)～6月30日(日)
対象 : 豊中市青少年野外活動協会カウンセラー、施設の利用団体及び豊中市有志
参加人数 : 延べ135名
参加費 : なし
場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
内容 : テント設営、水路工事、野外浄化槽の囲い製作、キャンプ場内の道やハイキング道整備、看板製作、ウッドデッキ解体、川原掃除など

※2回目

日にち : 9月7日(土)～9月8日(日)
対象 : 豊中市青少年野外活動協会のカウンセラーや関係者、施設の利用団体など
参加人数 : 延べ60名
参加費 : なし
場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
内容 : テント撤収、プール掃除、枯れ木の伐倒、材木置き場の製作、防腐剤塗りなど

g. ジュニアキャンプ

日にち : 8月3日(土)～8月5日(月)
対象 : 豊中市及び近隣の小学生(小学5年～6年・30名)
参加人数 : 24名
スタッフ : i カウンセラー 18名
ii 理事職員・ボランティア 8名
参加費 : 15,000円
場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっぱる
内容 : トワイライトハイク(深山)、キャンプファイヤー、野外炊事、シェルター作りなど

h. キャンピングスクール

日にち : 8月10日(土)～8月12日(月)
 対象 : 豊中市及び近隣の小学生(小学3年～4年・40名)
 参加人数: 38名
 スタッフ: i カウンセラー 19名
 ii 理事職員・ボランティア 8名
 参加費 : 13,000円
 場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっばる
 内容 : テント泊、野外炊事、クラフト、キャンプファイヤー、川遊びなど

i ユースチャレンジキャンプ

日にち : 9月25日(水)～29日(日)
 対象 : 豊中市及び近隣の困難を有する若者
 参加人数: 9名
 スタッフ: i カウンセラー 2名
 ii 理事職員・ボランティア 2名
 参加費 : 8,000円
 場所 : 豊中市立青少年自然の家 わっばる
 内容 : 場内整備計画の策定・実行、食事作り、レクリエーションなど

j. わっばるの森をつくろう事業

対象 : 豊中市及び近隣の家族・一般
 内容 : 伐採や薪作り、クラフト等の体験により、森のしくみを学び、森を大切にする心を育てる。森を活用したプログラムを開発し、利用団体などにプログラムを提供できるようにする。

実施日	内 容	参加費	場 所	参 加 者 (募集人数)	スタッフ
10月26日 (土)	低木の間伐 たき火 薪割り クラフト 等	大人 4,000円	豊中市立青少年自然の家	2名 (30名)	理事職員・ボランティア 4名
1月25日 (土)		小学生以下 2,000円		6名 (30名)	理事職員・ボランティア 5名
2月22日 (土)		※4回分		8名 (30名)	理事職員・ボランティア 6名
3月21日 (土)	※コロナウイルス感染症のために中止。参加費は返金対応。				
			合計	16名	

k. わっぱるキッズ事業

対象 : 豊中市立青少年自然の家「わっぱるキッズ」登録者(小学1年~6年)
 内容 : 通年で、様々なプログラム体験を通じて「わっぱる」の自然や友だちと親しむ。
 詳細は下記一覧表参照

実施日	内 容	参加費	場 所	参 加 者 (募集人数)	スタッフ
5月25日 5月26日	カレー作り ※各日帰り	6,000円	豊中市立青少年自然の家	26名 (40名)	Co 9名 理事職員・ボランティア 3名
(6月15日) 6月16日	川の生物観察 ※15日は荒天中止	6,000円		20名 (40名)	Co 4名 理事職員・ボランティア 5名
8月23日 ~24日	サマーキャンプ 1次隊	10,000円		34名 (40名)	Co 11名 理事職員・ボランティア 8名
8月24日 ~25日	サマーキャンプ 2次隊	10,000円		38名 (40名)	Co 10名 理事職員・ボランティア 8名
11月2日 11月3日	たき火 ※各日帰り	6,000円		15名 (40名)	Co 7名 理事職員・ボランティア 2名
12月7日 ~8日	クリスマス 1次隊	10,000円		40名 (40名)	Co 18名 理事職員・ボランティア 3名
12月14日 ~15日	クリスマス 2次隊	10,000円		38名 (40名)	Co 10名 理事職員・ボランティア 9名
1月18日 1月19日	もちつき	6,000円		35名 (40名)	Co 12名 理事職員・ボランティア 4名
2月15日 2月16日	味噌づくり	6,000円		35名 (40名)	Co 6名 理事職員・ボランティア 6名
				合計	281名

l. キャンプテクニックスクール

日にち : 1回目:11月6日(水) 2回目:11月15日(金) 3回目:11月23日(土)
 対象 : 青少年指導者など、子どもに関わる方
 参加人数: 1回目:17名(協会内参加者15名、協会外参加者2名)
 2回目:14名(協会内参加者12名、協会外参加者2名)
 3回目:7名
 参加費 : 各回 1,000円
 場所 : 豊中市立青年の家 いぶぎ (1回目・2回目) 豊中市立青少年自然の家 (3回目)
 内容 : 専門の講師を招き、コミュニケーションについてや、指導者の子どもへの働きかけなどについて学んだ。

m. 星空まつり in 能勢

日にち : 11月16日(土)~17日(日)
 対象 : 豊中市及び近隣の家族、市民

参加人数：124名
 スタッフ：i カウンセラー 1名
 ii 理事職員・ボランティア 6名
 iii 講師 22名（豊中天文協会）
 参加費：4,500円（大人） 3,000円（高校生以下） 1,500円（小学生未満）
 場所：豊中市立青少年自然の家 わっぱる
 内容：星空観察、流れ星観察、コンサート、たき火、太陽観察、工作など

n. キャンプミーティング（内部事業）

日にち：4月
 対象：カウンセラー、理事・職員、OB、協会関係者
 参加人数：約50名
 場所：豊中市立青少年自然の家 わっぱる
 内容：協会関係者の交流を深めるプログラム（野外炊事、レクリエーションなど）

(2) 野外活動等の指導者の育成事業

① 指導者の推移

所属するボランティア（キャンプカウンセラー）の人数は以下のように推移している。

2019年度	52名	2018年度	59名	2017年度	69名
--------	-----	--------	-----	--------	-----

※ いずれも年度末（3月31日時点）での登録者

② 指導者への研修実施

以下の研修を実施した。

日程	会場	内容	参加者
4月25日（木）	豊中市立青年の家 いぶき	協会の理念、カウンセラーの意義、プログラムの意義	9名
5月11日（土）～12日（日）	豊中市立青少年自然の家	テント設営、救急法、キャンプファイヤー	12名
5月28日（火）	豊中市立青年の家 いぶき	対象の理解、野外活動(プログラム)種類・意義・計画・実施	13名
6月8日（土）～9日（日）	豊中市立青少年自然の家	救急法、野外炊事、テント設営	16名
6月20日（木）	豊中市立青年の家 いぶき	組織図、3Dシップ、カウンセラーの役割	13名
7月7日（土）	豊中市立青少年自然の家	夏に向けたフォロー研修 救急法	16名
9月29日（月）	カウンセラールーム	夏のキャンプの振り返り	8名
10月6日（日）	豊中市立青年の家 いぶき	インプロ（即興劇）研修	6名
11月6日（水）	豊中市立青年の家 いぶき	グループワーク 指導者の働きかけ方	17名
11月15日（金）	豊中市立青年の家 いぶき		14名
11月23日（土）	豊中市立青少年自然の家		7名
12月1日（日）	豊中市立青少年自然の家	コミュニケーションについて	8名
12月20日（金）～22日（日）	岐阜県高山市飛騨高山スキー場 国立乗鞍青少年交流の家	スキー、スノーボードの技術 指導法	13名
1月24日（金）	豊中市立青年の家 いぶき	対象の理解	1名
1月26日（日）	豊中市立青年の家 いぶき	コミュニケーションについて	9名
2月18日（水）	豊中市立青年の家 いぶき	対象の理解、野外活動(プログラム)種類・意義・計画・実施	9名
2月8日（土）～9日（日）	カウンセラールーム～ 豊中市立青少年自然の家	長距離歩行	5名
3月7日（土）～8日（日）	豊中市立青少年自然の家	コミュニケーションについて	12名

③ カウンセラーへの面談

カウンセラーへの面談を実施。振り返りと今後の展望、協会への要望などについて話し合った。
12月～3月にかけて、合計5回（30名）実施

④ 新人カウンセラー獲得のために、以下の取り組みを行った

- a. 近隣大学、専門学校へチラシやポスターの設置依頼（81の大学・専門学校）
- b. 大学のボランティア紹介週間への出展（1大学）
- c. ホームページの活用
 - i 団体ホームページに募集ページを設置
 - ii ボランティア紹介サイトへの登録

上記の取り組みにより、2019年1月から12月までに、23名の応募者があり、そのうち11名が入会した。

※ 各年度のカウンセラー登録は12月まで。1月以降入会者は翌年度よりカウンセラー登録。

また、2020年度に向けて、北摂の野外活動施設合同での説明会を企画した。

※参加施設：吹田市自然体験交流センター（一般財団法人大阪市青少年活動協会）

：箕面市立青少年教学の森野外活動センター（一般財団法人大阪府青少年活動財団）

（4月に2回の説明会実施予定であったが、コロナウイルス感染症拡大のため中止となった）

⑤ その他、以下の取り組みも行った

育成指導者の事業傷害保険料加入、ユニフォーム等の共通物品の購入、交通費の費用弁償、謝礼金支払い等。

（3） 自然の家管理運営事業

① 職員配置

豊中市立少年自然の家の適切な管理運営を行うため、以下のように職員・スタッフを配置し業務にあたった。

【職員・スタッフの内訳】

雇用形態	職	職員数	担当する業務内容	役割
常勤理事	所長	1	指定管理業務全体の統括	統括責任者
常勤職員	副所長 兼 事業担当	1	指定管理業務の企画立案と運営、労務管理、豊中市との連絡調整業務、安全衛生管理、職員の研修計画策定、主催事業の企画立案と運営	統括補佐 企画運営責任者 主催事業実施責任者
常勤職員	管理 マネージャー	1	施設管理、外注契約指導・履行確認、各種メンテナンス契約事務、物品調達、利用者対応、施設管理、備品管理	施設管理責任者 料金徴収業務責任者
常勤職員	広報担当	1	利用者対応、施設管理、施設広報 主催事業担当	広報責任者 利用者指導、業務運営
常勤職員	主任指導員	1	利用者対応、施設管理 主催事業担当	利用者指導責任者 業務運営
常勤職員	指導員	1	利用者対応、施設管理 主催事業担当	利用者指導 業務運営
常勤職員計		6		
非常勤職員（繁忙期）	非常勤指導員	1	利用者対応補助、施設管理補助	補助職員
理事	事務局長	1	経理業務、労務管理（協会本部）	労務管理責任者 経理業務責任者

② 自然の家 運営関係

a. 「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」利用状況

項目	団体数	利用者 実人数	利用者 延べ人数	施設の 利用率
実績	296 団体	7,499 人	13,231 人	46.3%/200%
前年実績	311 団体	7,787 人	14,009 人	52.1%/200%
確保すべきサービスレベル	280 団体	—	13,000 人	30%/200%
最高評価サービスレベル	360 団体	—	20,000 人	40%/200%

※確保すべきサービスレベルと最高評価サービスレベルは、豊中市と合意したサービス評価基準（SLA）による。

b. 「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」主催事業実施状況

主に「わっぱる」を会場として行った協会主催事業については、3 事業の実施状況」の e～m を参照。

c. その他活動

スリーピングシートの提供、飲料や薪等の物販、クラフト、プログラム指導（有料）などを行った。

③ 自然の家 管理関係

a. 施設管理の外部委託状況

以下の業務を外部業者に委託

①	施設警備	⑦	暖房用ボイラー保守点検
②	食堂運営・清掃業務	⑧	水質管理機器保守点検
③	自家用電気工作物保守点検	⑨	ろ過装置保守点検
④	消防設備機器保守点検	⑩	水質検査
⑤	浄化槽設備維持管理	⑪	ごみ処理
⑥	給湯用ボイラー保守点検	⑫	天体望遠鏡保守

b. 施設管理に関する実施項目

- ・ 場内の水路補修（通年）
- ・ 場内の手すり、階段、看板の補修（通年）
- ・ 場内の枯れ木の伐採、倒木の整備、焼却、薪作り（冬季）
- ・ 場内の常緑樹の間伐（冬季）
- ・ 前年の豪雨氾濫に伴う河川清掃（4 月）
- ・ 薪置き場作成（4 月）
- ・ 野外浄化槽周辺の覆い作成（6 月）
- ・ 場内各所、単管のペンキ塗り（6 月）
- ・ キャンプ場入り口、大看板製作（6 月）
- ・ 材木置き場改修（9 月）

c. 業者による整備

- ・ 場内水道管、排水管、ポンプ、トイレ等の破損補修（通年）
- ・ 館内の蒸気管の蒸気漏れ補修（冬季）
- ・ 北の沢の砂防工事（前年度～7 月）
- ・ 南の沢の砂防工事（12 月～）
- ・ 第三山小屋の屋根修理（1 月～3 月）
- ・ 裏山の植栽木周辺整備（1 月～3 月）

④ わっぱる管理運営懇談会の開催

開催日：令和2年3月6日（金）19:00～21:00

開催場所：豊中市立青年の家いぶき

委員

豊中市立小曾根小学校校長	船越 聖美	大阪府立能勢高等学校校長	向井 幸一
豊中天文協会副会長	中川 均	ボーイスカウト豊中地区参与	黒田 一男（座長）
豊中市社会福祉協議会 事業経営室長	森 正巳		

協会出席者

理事長	大澤 広文	理事	田畑 尚利
所長	増子 修一	マネージャー	高井 宏
副所長	大井 朗生	事務局	松田 将輝

教育・地域・福祉・
利用者のそれぞれを
代表する有識者の方

を委員にお招きして、「わっぱる」の管理・運営について、協会外部からご提言をいただき、今後の「わっぱる」の管理・運営に反映させる事を目的に、「わっぱる管理運営懇談会」を開催。指定管理受託とともにスタートさせた懇談会は今回で10回目となった。

当日は、学校の現状に基づいたアドバイスや、事業実施の際に協力いただけそうな団体の情報、能勢高校の生徒によるボランティア協力、「わっぱる」の環境を活かしたプログラム等についての提案をいただいた。

（４）野外活動等に関する情報提供事業

① ホームページの運営

当協会のホームページを運営し、野外活動等に関する情報を発信した。

（５）野外活動等を実施しようとする団体等への指導者の派遣

各種団体が計画する野外活動等の事業に関し、当該団体からの依頼により、当協会の事業目的に照らし適当と認められる事業について、当協会の指導者を派遣した。

① 派遣事業の内容

- a. 地域こども教室でのプログラム（火起こし、クラフトなど）
 - ・実施回数 5回（6月、9月、10月、11月、2月）
 - ・派遣指導者の延べ人数 6人
 - ・参加者 延べ約200人
- b. 豊中人権まちづくりセンター児童館 子どもチャレンジ（レクリエーション、クラフト）
 - ・実施回数 8回（6月、8月、11月、2月）
 - ・派遣指導者の延べ人数（18人）
 - ・参加者 のべ約250人
- c. 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト「ゆめ・まちお天気スクール」
（天気に関するワークショップ）
 - ・実施回数 4回（4月）
 - ・派遣指導者の人数 延べ10人
 - ・参加者 延べ約40人
- d. 能勢町健康福祉部・能勢町教育委員会「夏休み！元気ひろば」
（天気に関するワークショップ）
 - ・実施回数 1回（7月）
 - ・派遣指導者の人数 1人
 - ・参加者 約30人
- e. その他、豊中市の施設や団体でのプログラム（クラフト、火起こしなど）
 - ・実施回数 5回（5月、8月、10月、11月、2月）
 - ・派遣指導者の延べ人数 18人

- ・参加者 延べ約 400 人

(6) 野外活動等の調査研究事業

主に、以下のような調査研究事業を行った。

- ・野外活動に関する資料、書籍の収集
 - ※ アウトドア雑誌、野外料理に関する書籍等
- ・野外活動等のフィールド調査
 - ※ 周辺地域のハイキングコースや周辺施設への訪問・調査等
- ・プログラム開発のための諸調査
 - ※ クラフトやアウトドアクッキングの情報収集・練習、他施設のプログラム調査等

4 総会の開催状況

1. 2019 年度通常総会（2018 年度事業報告・収支報告）

- ・日 時： 令和元年 6 月 23 日（日） 10：00～12：00
- ・場 所： 豊中市中央公民館
- ・会員総数： 34 名
- ・出席者数： 26 名 うち委任状出席者数 8 名
- ・内 容
 - 第 1 号議案 2018 年度事業報告に関する承認の件
 - 第 2 号議案 2018 年度収支報告書に関する承認の件審議の結果、賛成多数で可決承認。

2. 2019 年度通常総会（2020 年度事業計画・収支予算）

※ コロナウイルス感染症のため、書面開催とした。

- ・会員総数： 34 名
- ・書面返信者数： 28 名 うち委任者数 5 名
- ・内 容
 - 第 1 号議案 2020 年度事業計画書及び収支予算書承認の件
 - 第 2 号議案 2020 年度年会費の額の承認の件
 - 第 3 号議案 決算総会の実施に関する承認の件

書面による審議の結果、賛成多数で可決承認。

5 理事会の開催状況

協会運営、事業予算、指定管理事業等について協議した。

- ・ 理事会 開催日時
 - 第 1 回 2019 年 5 月 10 日 19：00～21：00
 - 第 2 回 2019 年 11 月 25 日 19：00～21：00
 - 第 3 回 2020 年 2 月 25 日 19：00～21：00

6 「Camping Award」及び優良救急普及啓発団体の受賞

(1) 「Camping Award」受賞（公益社団法人日本キャンプ協会・10 月）

キャンプや自然体験活動の普及・促進、青少年健全育成、野外教育への貢献があった個人や団体に送られる。50 年を超える活動や協会スタッフの大阪府キャンプ協会での貢献が評価された。

(2) 「優良救急普及啓発団体」受賞（豊中市消防局・3 月）

救命講習会を継続的に実施してきたことが、「安全で安心して暮らができるまち」づくりに貢献したと評価された。

以上